

部屋割り会議に関して

檜陵祭実行委員会事務局

◆ 参加団体決定の方法に関して

今年は檜陵祭説明会における部屋割り会議に参加できる団体の事前抽選を行わず、部屋割り会議内でブロックごとに参加団体を抽選する手順に変更となっています。部屋割り会議に遅刻・欠席すると檜陵祭に参加することができない可能性が高くなりますので、必ず時間内に受付にお越しください。

◆ ブロック決定会議（参加団体抽選）の流れについて

ブロック決定会議では、各団体が所持する3票の抽選権を希望するブロックに割り振り、ブロックごとに抽選を行う手順となります。それぞれの票には各団体で1～3の優先順位を決めていただき、3票とも同じブロックに割り振る、1票ずつ3ブロックに割り振るなど自分の団体に適した割り振りを行うことで、可能な限り多くの団体に適切なブロック配分をできるシステムになっています。

票の割り振りは、部屋割り会議前に各団体内で仮決定をしていただき、会議内でブロックごとに入っている票数の確認や団体間の話し合いをしていただいた上で最終決定していただきます。なお、音楽団体など一部の団体は利用できるブロックが限られている場合があります。該当の団体は十分注意して選んでいただくとともに、どのブロックでも企画を行える団体は部屋割り会議内の移動にて票が多く入っているブロックから避けていただくなどこれらの団体への配慮をよろしく願います。

全団体のブロックの割り振りが終わった段階で各ブロックでの抽選となり、ブロックごとに抽選をしていきます。各ブロックで1票ずつすべて引き切り引いた順番に順位をつけていきその順位が区画の規定数よりも上回っていれば当選となります。抽選で当選した団体は該当のブロックの使用権を獲得します。なお、複数のブロックに票を割り振った団体のうち、複数ブロックで当選した団体は、事前に決めていた1～3の優先順の高い方のブロックに当選となります。これによってブロックの団体数に空きが生じた場合は、残りの団体で順位の高い順に割り振られます。どのブロックの使用権も得られなかった団体は檜陵祭への参加ができません。

◆ 各ブロックの仕様

● E棟2階（3階）普通教室ブロック

E棟2階（3階）に存在する普通教室を集めたブロックです。行える企画内容に制約がほとんどなく、様々な団体に利用していただけます。音楽・公演などの企画を行う団体に適した区画です。

● E棟大教室ブロック

E棟2階・3階に存在する大きな教室を集めたブロックです。E棟普通教室と同じく行える企画内容に制約がほとんどありません。特に大きなスペースが必要な音楽団体の利用に適しています。

● 椅子固定教室ブロック

E棟の椅子固定教室および大講堂を含むブロックです。上映・研究発表などを行い、来場者の座席が多く必要な団体の仕様に適しています。

● N棟演習室ブロック

N棟にある演習室を集めたブロックです。音楽企画などの大きな音を出す企画は行えません。静かな区画での展示、販売を行いたい団体の利用に適しています。

◆ ブロック抽選の具体例

ブロック抽選の流れについて具体的に示します。

A～Tの団体(20団体)がエントリーする場合

	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4
1位	A(1)	B(2)	A(3)	C(2)
2位	B(3)	G(2)	O(1)	C(1)
3位	F(3)	M(3)	Q(3)	H(2)
4位	T(1)	N(1)	B(1)	E(2)
5位	P(2)	Q(1)	R(1)	C(3)
6位	D(1)	F(2)	I(3)	J(2)
7位	D(2)	E(1)	G(1)	K(3)

・各団体のアルファベットの横の（ ）内の数字は各団体の決めた表に対する優先順位を示しています。

・各ブロックの規定区画数は3です。

～団体 A に注目した場合～

団体 A はブロック 1 とブロック 3 で当選していますが、優先順位の高い票が優先されるので団体 A はブロック 1 に自動的に決定します。

～団体 B に注目した場合～

団体 B はブロック 1 とブロック 2 で当選しています。ただし、団体 A がブロック 3 から除外されるので4位の B は当選圏内に入ります。この場合ブロック 3 の票の方が優先順位が高いため団体 B はブロック 3 に自動的に決定します。

～団体 C に注目した場合～

団体 C はブロック 4 で当選しています。ただし 2 票分当選しているため 4 位の E は当選圏内に入ります。

～団体 N に注目した場合～

団体 N は当選していませんが団体 B がブロック 2 から除外されているので団体 N は当選圏内に入りブロック 2 に自動的に決定します。

～最終結果（当選団体）～

ブロック 1 : A、F、T

ブロック 2 : G、M、N

ブロック 3 : O、Q、B

ブロック 4 : C、H、E

※この例は具体例であって実際のブロックごとの規定区画数や抽選の参加団体の数は異なります。